

# みなとっふ

Takanawa  
Community News Magazine

## 高輪地区情報紙

2022年2月  
Vol.45

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課  
編集：みなとっふ編集室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



### 春を告げる梅の花とメジロ 亀塚公園にて

メジロは花の蜜を吸うのが好きで、また警戒心が緩いので、梅の花が咲くとメジロの姿をよく見かけ、春の訪れを告げる。

「今朝も鳴きに目白が来たよ背戸の梅」寺田 寅彦<sup>てらだ とらひこ</sup>

(写真/平尾 文/安藤)

## CONTENTS

2 地域防災協議会について

3 この街にこの人あり

島田晴雄さん  
(慶應義塾大学名誉教授  
経済学者)



4 5 地域のあしあと  
幕末の外国公使館

6 施設訪問

「あいはーと・みなと」

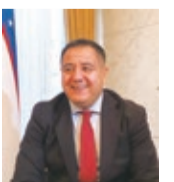
6 私だって地域の一員!

宮古島からやってきた  
活丸<sup>かつまる</sup>さんとビビアンちゃん



7 大使館訪問

ウズベキスタン共和国  
(アブドゥラフモノフ大使)



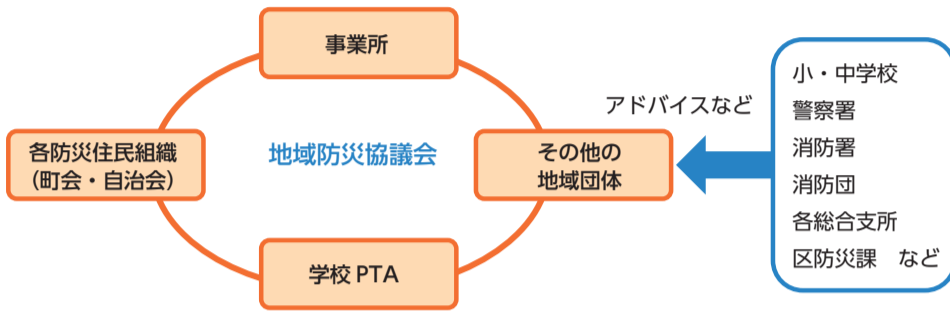
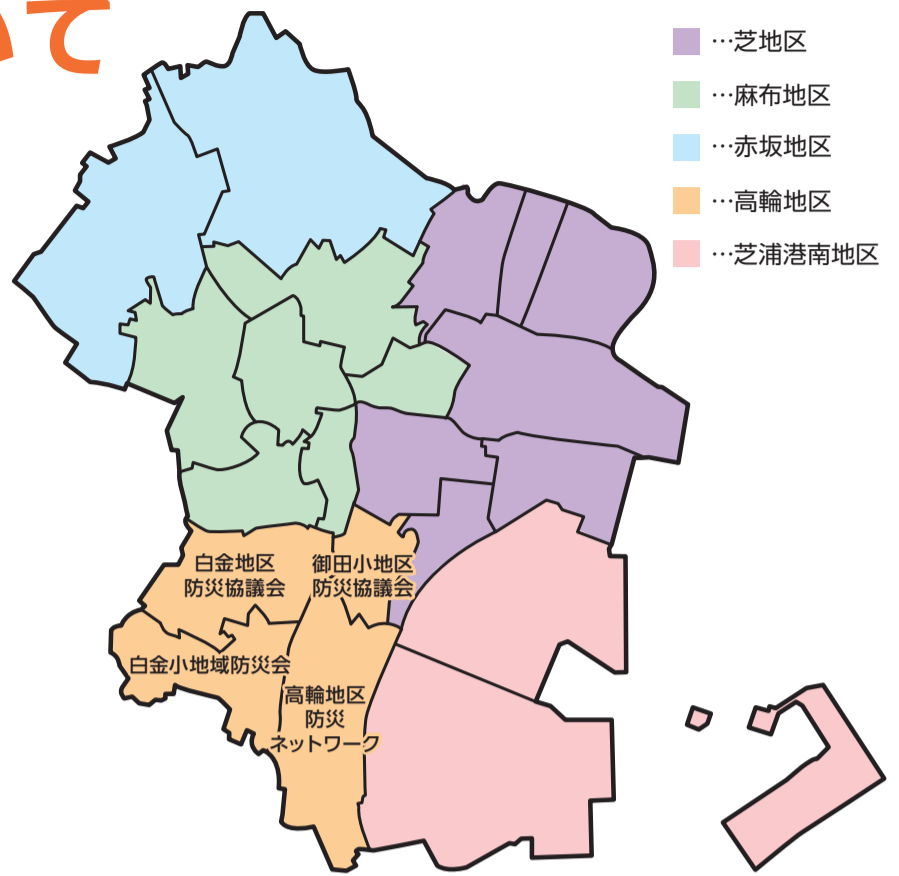
8 区からのお知らせ



# 地域防災協議会について

災害時の区民避難所は、原則、区立の小学校の通学区を単位に、近隣の防災住民組織（町会・自治会）、事業所、学校PTAなどで結成された、地域防災の中心を担うための組織である「地域防災協議会」により運営されます。港区内では、令和4年1月31日現在、22の地域防災協議会が活動しており、避難所の開設や運営のための協議、防災訓練など、日頃から様々な防災活動を行っています。

避難所は、自宅に居住できなくなった被災者を一時的に受け入れるための場所です。今回は、災害が起きたとき、実際に避難所を運営する高輪地区内の4つの防災協議会（御田小地区防災協議会、白金小地域防災会、白金地区防災協議会、高輪地区防災ネットワーク）の代表に、日ごろの活動についてお話を伺いました。



## 活動中の様子



避難所開設訓練の様子



小学生に災害時のトイレについて説明している様子



マンホールトイレ設営訓練の様子



避難所における感染症対策訓練の様子

## 高輪地区の各防災協議会代表からのお話

① **活動内容** 御田小学校学区の5町会で活動しています。毎月、御田小学校の家庭科室で、各町会長や小学校の校長先生か副校長先生、高輪地区総合支所の職員などが参加して意見交換をしています。小学校の防災授業にも参加して避難所の段ボールハウスの組立訓練、マンホールトイレ見学、備蓄倉庫の見学などを行っています。無線機や発電機も揃えています。

② **活動で大切にしていること** 以前から住んでいる人たちはもちろん、この地域に引っ越してきた方との交流を大切にしています。公園でのお花見などのイベントから協議会の活動に参加してくれている方もいます。

③ **地域の方へのメッセージ** 新しく引っ越して来られた皆様と顔が見える交流がしたいと思っています。防災協議会をはじめ、地域のイベントや日常的な活動に気軽に参加していただき、顔が見える交流ができればと思っています。よろしくお願いします。



御田小地区防災協議会会長  
三田松坂町会長  
まつだ せつお  
松田 節男 さん

① **活動内容** 白金小学校学区の10町会で活動しています。毎月、会議をしています。放水訓練やコロナ影響下での避難所開設訓練なども行っています。避難所開設に駆け付けた人がすぐに動けるようなツール整備や、町会ごとに色の違うネックホルダーの配布、無線機や資機材整備など、幅広い取り組みも積極的に行っています。

② **活動で大切にしていること** 安心安全なまちづくり。災害時は、普段の交流が力を発揮と思うので、地域のお祭りやイベントなどで様々な方に活動に参加してもらえるように心がけています。顔が見える活動を大切にしています。

③ **地域の方へのメッセージ** 本当に、この町に住んでよかったね。一生住んでいたいね。と言えるまちづくりをしたいと思います。



白金小地域防災会代表  
白金台三光第八町会長  
さかきばら ますみ  
榊原 益躬 さん

① **活動内容** 地域12町会で活動しています。毎月、会議を行い、年に1回は白金の丘学園で、避難所運営訓練を行っています。コロナ時代に即した避難所運営をしたいと考えており、運営スタッフには若い世代の方、港区の防災ボランティア養成講座受講者の方にも参加していただいています。その他、白金の丘学園の防災授業ではマンホールトイレの設営訓練を担当し、中学生へのレクチャーもしています。

② **活動で大切にしていること** 運営側の人も安全が確保できるような活動を大切にしています。地域で防災に関心を持っている方にも積極的に参加してもらおうように心がけています。

③ **地域の方へのメッセージ** 顔が見える活動を大切にしていますので、防災活動だけでなく、地域イベントなどに気軽に参加していただければと思っています。「住めば都」という言葉がありますが、住んでいる町を愛していただきたいな、と思っています。



白金地区防災協議会会長  
かねこ よしお  
金子 芳夫 さん

① **活動内容** 地域内の町会・自治会20団体が参加しています。毎月、会議を行っています。高松中学校1学年の防災訓練、高輪台小学校の防災教室に参加して防災知識を伝えるほか、高松中学校での避難所開設訓練を実施しました。高輪台小学校でも今後取り組んでいきたいと思っています。避難所内において正確で無駄のない活動を実現するために小型トランシーバーの大量配備を進めています。

体的に考えて活動することを大切にしています。火事を出さないことの大切さや、室内で怪我をしないための家具転倒防止対策の啓発などを行っています。マンションの皆様とも出来るだけ交流するように心がけています。

③ **地域の方へのメッセージ** マンション、自治会、町会など集まれる範囲から共通因子を見つけ、つながりを広げていきたいと思っています。住民の皆さんの生活環境や内容は様々です。この地域の安心安全を守るために共通因子のうち、「できることから」一緒に活動していきたいと思っています。



高輪地区防災ネットワーク代表  
高輪二丁目長和会会長  
いまふく しょうぞう  
今福 昌三 さん



## この街にこの人あり

慶應義塾大学名誉教授 経済学者

しまだ はるお  
島田晴雄さん



「春暁」(2005年 島田 晴雄 作)

### 【プロフィール】

1943年-東京生まれ  
1965年-慶應義塾大学経済学部 卒業  
1970年-慶應義塾大学大学院経済学研究科 博士課程修了  
1974年-ウイスコンシン大学 博士課程修了  
1982年-慶應義塾大学経済学部 教授  
1986年-マサチューセッツ工科大学 訪問教授  
1987年-ESSEC(経済経営グランゼコール)(フランス) 交換教授  
2000年-東京大学先端科学技術研究センター 客員教授  
2007年-株式会社富士通総研 経済研究所 理事長  
2017年-千葉商科大学 学長 公立大学法人首都大学東京 理事長  
2020年-東京都立大学法人 理事長



### ■ 語学の習得について

英語が堪能でいらっしゃいますが、どのように勉強されたのですか？

高校生の頃、本気で英語をやりたいと思い、中学2年の教科書から再勉強を始めました。大学に入り英語部に入学しましたが追いつけない。ある日、「I shall return」と言いダグラス・マッカーサーの真似をして教室を出ていきました。戻るには英語が上手く話せるようになるしかなかったのです。そこで家の近くに住んでいた宣教師に助けを求めました。私が書いた文章を直してもらい、英語で吹き込んでくれたテープを通学時や家庭教師のアルバイトに行く際にとにかく何度も、日に30回くらいは聞きました。何千回と聞いた頃、歌うように上手く話せるようになっていて、軽い気持ちで出場した慶応のコンテストで3位を取りました。また、我が家で受け入れたアメリカ人の交換留学生を2週間面倒を見ながらあちらこちらに連れて行き、それで相当レベルが上がりました。

1964年の東京オリンピックで通訳をされたそうですね？

通訳は全て学生が対象で、何万人か受験して2500人の学生が選ばれ、トップ100人が参加各国の通訳団長になり、その内さらにトップの成績の10人が主要国の通訳団長に。当時の与謝野 秀事務務総長(与謝野晶子の孫)の指示で私は主要国の団長になり、一番忙しいプレス担当にもなりました。開会式は印象的でした。空を見上げると自衛隊の飛行機が五輪を描きました。後で聞いたことですが、練習では輪が合わず、あの日初めて五つの輪が成功したそうです。思うに良い時代、のどかな時代だったと。現代だったら練習で出来なかったものを本番でやらせないでしょう。五輪の輪を見ながら、ワーっという歓声を聞いて、日本人に生まれて本当に良かったと思いました。

中国語も堪能でいらっしゃいますね？

千葉商科大学の学長になり70歳過ぎから始め、猛勉強をして中国語で講演するまでに至りました。この先、学生が社会に出る頃中国は大きくなり、中国語に力を入れるべきだと思ったからです。学生の6割以上は中国と関わる職に就くでしょう。トラブルになったら中国語で喧嘩ができるくらい話せるようにならないといけないと。そこで、学長である私自ら式辞は中国語でやると決めたのです。毛沢東の出身である湖南大学での私の講演を聴講している

学生250人のうち50人は日本語が話せ、200人は英語を話せました。トリリンガル(三ヶ国語を話せる)もいるのです。中国は人を育てる教育をしていると思います。今の日本は敵わないですね。相手の文化を尊敬すると語学はできるもの。ですから恋人を作ることがベストですね。(笑)

### ■ 絵画について

4歳から絵を描かれたということですが？

兄弟の中で一番身体が小さく、虚弱であったので親が心配して手に職をとる感じで絵を習わせてくれました。ご近所の有名な岡田健三先生のところに通うことになりましたが、大人の生徒ばかりの中でひとりピュアな4歳児がひたすら一生懸命描いていました。先生は全く何も言わずにそんな自分の背後に立ってじっとご覧になれる、と何故か絵筆が進んだものです。その経験からピュアな幼児を教えるのは天才でないため、天才は幼児の才能を引き出せるという思いに至りました。ノーベル賞を得た人は子供を教える方が良いと思います。

小学生時代「天才画家」と呼ばれていましたね？

当時日本中の子ども画家の中でも自分だけアメリカのライフ誌の取材を受けたこともあり、小学校では特別扱いをされ、嫌でした。また、岡田先生が渡米してしまい絵を描く気が失せていた小学3年生の頃、洞窟の写真展を観に行き洞窟の岩に傷をつけただけのバッファロウの絵と横の一本の原始的な線を観て衝撃を受けました。その一本の線は絵を描けない人がバッファロウに感謝への気持ちをピュアに表現した貴重な絵ではないかと。その後絵とは何だろう、このバッファロウへの感謝の気持ちを描いたものが絵ではないか、もっとという絵は描かなくて良いのではないかと感じてしまったのです。書道は文字を読めた方が良い、音楽は楽譜が読めないといけない、ただ絵にはルールがありません。絵は誰でも描けるピュアなもの、生命の表現、生きていることそのものが絵ではないかと思えます。この後、中学校の先生とも絵に対する意見が合わずに12歳で絵は描かなくなりました。

絵を描かなくなって、再開するきっかけは？

小泉首相の担当の時に委員会を作り僕は委員長となりました。メンバーの一人にフランス代表のシャネルの社長リシャル氏がいらっしゃり、40年絵を描いていないとお伝えすると絵を描くことを強く勧められ、シャネル本社の銀座移転のオープニン

グ企画として個展を開くことになりました。

再開後の絵は表現しやすいアクリル画にしました。写実よりも心象風景を描きたいと思いましたが初めは上手く描けず大変でした。

伊豆にある別荘に毎週末通って絵を描き、次第に描けるようになり絵画の搬出日にはトラックの運転手を待たせてまで最後の筆を入れました。そして搬出後「やった!」と思った瞬間に精魂尽き果て、気を失ってしまいました。

しかしその瞬間私は「見たっ!」のです。本当のアーティストは命を懸けている、死ぬかもしれないという思いで描いているのです。私は絵描きにならずに本当に良かったと思いました。

### ■ 教育について

三つの大学で教鞭をとられていましたが、教育で大事なことは？

今一番力を注いでいるのは若い事業家を育てることです。私は、経済、政治の他、歴史、宗教、文化、価値観をこれからの世代にもっと学んでほしいとの思いで、30代~40代の方々を中心に大学院レベルのリベラルアーツ「島田塾」を運営しています。2週間に一度25名くらいが集まって議論をします。「島田塾」は今年で20年目を迎えます。私は、学生たちと1対1で対話することは教育のエッセンスだと考えています。そのため、私はこの「島田塾」を一人で運営することにしています。

### ■ 高輪地区について

高輪地区について思うところは？

この地域について、私はコミュニティ形成が最も大切だと思っています。特に集合住宅では各戸のつながりが希薄になっていると感じることがあるため、私はポットラックパーティー\*を企画して地域の方々と親睦を深めるようにしています。皆さんもそのような取り組みをなされてはいかがでしょうか。

\*参加者がそれぞれ料理を持ち寄って楽しむパーティーのこと



取材時の島田晴雄教授

(担当/澁谷、安藤、小林、滝川、松本)



### ① イギリス公使館 東禅寺（高輪 3-16）

イギリス院駐日総領事（後に公使）オールコックは安政6（1859）年、高輪東禅寺に総領事館（後に公使館）を開いた。東禅寺が公使館に選ばれたのは、江戸に近く、海に面していたため、艦隊との連絡が小舟で容易にできたためである。

また、当時、東禅寺は江戸の中でも1、2を争うほど高い格と権勢を誇っており、美しい建築空間と庭があったため、オールコックがとても気に入っていた。

その後、攘夷派による襲撃事件が2度起きたため、公使館は泉岳寺前に移転せざるを得なかった。奥書院と玄関は現在も当時の姿を残している。



東禅寺より見た江戸湾と台場  
作者不詳（DISTANT VIEW OF YEDO FORTS.）、1873年、鶏卵紙、130×194mm  
（東京都写真美術館所蔵）

### 東禅寺襲撃事件

幕末におけるイギリス公使館東禅寺は2回にわたって襲撃事件の場となった。[第1回] 文久元（1861）年5月28日夜、東禅寺は10数名の水戸浪士によって襲撃を受ける。公使オールコックはその前日に、長崎より陸路で日本列島を旅し江戸に帰り着いたばかりで、この旅行が「神州の地を汚す」と浪士の憤怒を買い、浪士らを決起に走らせた。しかし、警備のために東禅寺に詰めていた幕府の外国御用出役\*や、諸藩の藩士により浪士らは撃退された。警備側、浪士側ともに数名の死者と多数の負傷者を出し、イギリス側も公使オールコックは難を逃れたものの、公使館員が負傷している。

[第2回] 第1回目の事件から1年後の文久2（1862）年5月、東禅寺の警備を命じられていた松本藩士伊藤 軍兵衛が、イギリス兵のうち1名を殺害、また1名を傷つけた。その後、軍兵衛は藩邸に戻り翌日切腹した。軍兵衛は、外国人が婦人を連れて江戸の見物に出かけることや、警備に使用していた火縄銃をイギリス人が侮辱したことに我慢ならなかったという。

当時の我が国では攘夷思想が強く、治安の悪化によりイギリスは東禅寺から横浜に公使館を移すことになる。



東禅寺浪士乱入図（笠間日動美術館山岡コレクション所蔵）

\*幕府の外国御用出役：幕府は講武所（幕臣への武術教習機関）より武術に秀でた者を抜擢、「外国御用出役（がいこくごようでやく）」として欧米諸国の公使館に配置し、外国公使・公使館員の警備にあたらせた。

### ② スイス使節宿所跡 正泉寺跡（三田 4-8）

スイス使節アンペールが江戸に出席し、当時オランダ公館だった長応寺に入ったのは文久3（1863）年4月だった。宿舎についてはオランダの協力で長応寺の共同使用ができたようで、同年12月には幕府との間で日瑞修好通商条約を締結した。

元治元（1864）年、当時の領事リンダウが書簡でフランスやオランダ公使館の近辺に江戸での滞在施設を求めた。幕府はこの求めに応じ、済海寺と長応寺の間にある正泉寺をスイスの宿所とした。

現在の正泉寺は、明治43（1910）年に目黒区碑文谷1丁目に移転しており、跡地は御田小学校となっている。

ちなみにリンダウは作家でもあり、日本最古の英字新聞社「ジャパン・タイムズ」の共同設立者である。

## 地域のあしあと

## 幕末の外国公使館

幕末の高輪にはイギリス、フランス、オランダ、プロイセン、スイスなど各国の公使館が集中して立地した。このあたりは高台になっており、江戸湾を見渡すことができた。海上の艦隊との連絡も容易で、江戸と開港場の横浜との間にあることも一因となっている。また、高輪地区には大きな寺が多く立地しており、寺が公使たちの宿泊場として利用された。



### なぜ高輪地区か

諸外国が求める公使館の立地条件は、横浜からのアクセスを考え、江戸の南部、加えて海に臨む眺望に優れた丘で、その条件に合う地形は三田・高輪が最も適していた。

外国艦船が公館からさほど遠くない海上に見えるという事は、海上の船との連絡が容易であり、在留外国人に精神的な安定をもたらした。

また、後から江戸に来た外国代表が、既に公館が設置されている済海寺～東禅寺の間の寺院を望んだ。

### なぜ寺院か

この地には、由緒ある大寺院が多く、外国公館に選ばれた寺院には外国使節を接遇するにふさわしい格式と、それを裏づける建築空間があり、多人数の一人のために必要な設備（警備上も）を整えるのに好適であった。

### その理由

安政5（1858）年、アメリカを皮切りに欧米諸国と修好通商条約を締結した日本は、近代国際社会に本格的に参入することになる。条約の一番の意義は自由貿易の規定にあったが、公使等の外交使節を江戸に駐在させることも重要なことであった。

### ③ プロイセン領事宿所（廣岳院 高輪1-24）

慶応元（1865）年4月、幕府はプロイセン領事フォン・プラントに、江戸での滞在寺院を高輪の廣岳院とすることを通告した。プロイセンの宿所は慶応2（1866）年2月、麻布仙台坂の春桃院に変更され、廣岳院の利用は短期間であった。現存する廣岳院の本堂は、弘化年間（1845～1848）の火事の後に再建されたもので、幕末に外国公館として使われていた建物の現存例としては、唯一のものである。

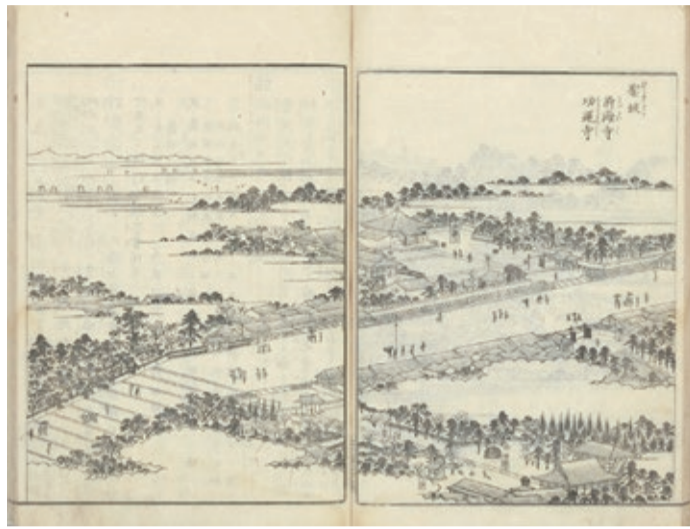


廣岳院

### ④ フランス公使館（済海寺 三田4-16）

済海寺は、聖坂を登り詰めるとすぐ、高輪の丘陵の一番北側に位置する。寺からは「江戸名所図会」にもあるように江戸湾が一望でき、風光明媚な場所であった。

フランス初代駐日総領事ド・ペルクールは、安政6（1859）年8月に江戸に到着して、条約の定めに従い、幕府が用意した江戸駐在官の宿舎である済海寺に入った。往来（二本榎通り）を挟んだ向かい側に見える大増寺にもフランス公使館員の宿舎が置かれた。



中央上に済海寺、右下に大増寺の名がみえる

〔聖坂 済海寺 功運寺〕  
〔江戸名所図会 三〕  
（東京都公文書館所蔵）

### ⑤ 高輪接遇所（高輪 2-15）

イギリス新公使パークスは、度重なる事件から、慶応元（1865）年、泉岳寺中門前の敷地（現在泉岳寺前児童遊園）に公使館を建設することを幕府に要求。幕府はイギリス側の強い要求に押され、ここにイギリス公使館を建設し、攘夷派の焼き討ちの危険を避けるため接遇所と称した。

日本で最初に建設された公使館専用の建物として、和洋折衷様式で建てられた。

明治以降はイギリス公使館と名前を変えた。イギリス公使館としての役割を終えた後は、新政府の外国人接遇所として外国使節との交渉などに使用された。

東京名勝図会 高輪英吉利館  
（港区立郷土歴史館所蔵）



泉岳寺前に建てられた高輪接遇所

### ⑥ オランダ公館跡 長応寺跡（高輪 2-1）

オランダは鎖国中の日本で唯一交易していた国だった。

安政5（1858）年、オランダは修好通商条約締結後に、江戸時代以来の本拠地を長崎出島に置き、総領事が江戸に出席した時に利用していたのが長応寺だった。

文久3（1863）年、総領事職を引き継いだポルスブルックは本拠地を横浜に移すが江戸での公館として長応寺を引き続き利用した。

ポルスブルックはスイスやベルギーなどヨーロッパ諸国と幕府の条約締結に積極的に関与したため、長応寺はこれら諸国と幕府の外交交渉の舞台ともなった。

長応寺は、伊皿子坂に面した台地の斜面に位置したため、公使館の置かれたすぐ横が崖になっている。そのため、境内には朝鮮矢来\*がめぐらされ、見張番所ももうけられて厳重に警備されていた。

\*朝鮮矢来（ちょうせんやらい）：竹垣の一種、朝鮮使節が来朝した時に作り始めたところからの名

### 参考文献

- 港区立郷土資料館『開国150周年記念資料集 江戸の外国公使館』
- 港区教育委員会『港区の文化財<第1集>幕末の外交史跡（1964年）』
- 吉崎雅規『幕末江戸と外国人』同成社
- 佐野真由子『オールコックの江戸 初代英国公使が見た幕末日本』中公新書
- 港区産業・地域振興支援部『港歴史観光ガイドブック』

（担当/吉田、安藤、伊関、平尾）



# 施設訪問 「あいは一と・みなと」

【施設情報】

〒108-0074 東京都港区高輪1-4-8  
TEL：03-5449-6455  
FAX：03-5424-1391  
URL：http://www.minato01.jp/

公式ホームページ



「港区立精神障害者支援センター（あいは一と・みなと）」は、港区にお住まいの精神障害者、そのご家族の方たちが地域で安心して暮らせるように、日常生活の支援や相談、社会参加や自立支援を行う港区立としては唯一の精神障害者を対象とした施設です。平成17(2005)年から高輪で地域生活支援センターとして活動を続けてきましたが、老朽化した建物の改築によって、一時的に浜松町の民間ビルに移転しました。令和3(2021)年6月、建物の完成とともに、もとの高輪に戻り、新たに就労継続支援事業や短期入所、生活体験プログラム事業を実施し、精神障害者に対する一貫した支援を続けています。施設を見学しながら、センター長の土屋 裕彰さん、事務長の井門 哲二さんに支援体制や施設の設備・機能等についてお話を伺いました。



## ～地域とのつながり～

本施設では、精神障害者への理解促進のための活動の一環として、様々な形で地域住民と触れ合う機会を提供しています。具体的には、夏祭り、音楽会、精神保健福祉講座等のイベントを地域に向けて開催し、また、町会や商店会が開催する行事への出店などを行っています。

### 喫茶 は一とカフェ(1階)

利用者が厨房内での調理やカフェでの接客をしています。何種類かのコーヒーの他、カレーライスが人気で連日訪れるお客さんもおり、完売する日もあります。また、食後には風味豊かなハンドドリップコーヒーを味わうこともできます。現在は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した内装となっており、換気も徹底しています。



喫茶 は一とカフェ(1階)

### 地域活動支援センター(3階)

オープンスペースでは、利用者がそれぞれのペースで来館しており、パソコン教室、ヨガ教室、演劇などのプログラムが催されています。眠れない方や具合の悪い方が休める静養室もあります。また、利用者が希望する生活の実現に向けて電話や対面での相談支援を行っており、精神障害に起因するさみしさや不安、困りごとを抱える方からの一日数十件の相談に応じています。



国産材と緑に囲まれ、環境に配慮された目に優しく、めくもりを感じることでできる内観や外観となっている。

### 工房 ローズマリー(4階)

この工房では、精神障害者が自主製品であるコーヒードリップパックを作成しています。コーヒー豆を挽き、計量し、パッケージを印刷してパックを袋詰めしています。製作されたドリップパックは「喫茶 は一とカフェ」で販売されています。なお、週5日就労することが困難な方は週1日や2日にするなど、個々人の状態や得手不得手を考慮し、ご本人と相談しながら適切な就労時間や業務内容を検討しています。



工房 ローズマリー(4階)

### 短期入所(4階)

一人暮らしの生活の体験やご本人あるいはご家族の休息などを目的とした短期入所(1回につき2泊3日が上限)を行っています。

### 生活体験プログラム(5階)

衣食住を中心とした基本的な生活習慣を身につけながら、週3回3か月を1クールとして、社会復帰に向け生活体験支援(調理、金銭管理、人付き合い等)を行っています。

## ～取材を終えて～

職員の皆さんが、精神障害のある方一人ひとりに寄り添い、個々の状態をよく見て丁寧に対応していく姿勢を感じることができました。本施設の積極的な活動により、地域の方々との絆を深め、今後もより地域の中での存在感を高めていくことが期待されます。  
(担当/松本、安藤、吉田、平尾)

## 私だって 地域の一員!

## 宮古島からやってきた活丸ちゃんとビビアンちゃん

活丸/オス/推定3才

ビビアン/メス/推定1才6カ月

2匹とも、縄文犬(北海道犬など)の血をひく琉球犬のミックス犬で、活丸は、長毛種が混ざっています

飼い主: 中島 豊さん (白金在住)



ビビアンが左側  
活丸が右側

活丸とビビアンは、沖縄県宮古島で別々に保護され、1年前からうちで暮らしています。飼い始めた時は、初めての都会で散歩中もビクビクしていましたが、ドッグトレーナーに習い、生活に必要なことを学んでいきました。2匹一緒だから慣れるのも早かったです。お散歩は、白金公園や白金台どんぐり児童遊園がお気に入りです。

2匹との出会いのきっかけは、保護犬団体のホームページです。

妻が10年以上前から、野犬、野良猫などの殺処分に強い問題意識を持っており、殺処分からペットを救うNPO法人で活動していたため、私も影響を受けました。仕事柄、欧州の人達と関わる機会が多いのですが、彼らが動物の生体販売に強く反対していることを知り、保護犬を飼うことを考え始めました。保護犬は、人間に対するトラウマがあり心をあまり開かないと言う人もいますが、私達が会った保護犬は皆、保護団体の方々の熱意と愛情によって人間と一緒に暮らすことが楽しくて仕方ないようでした。うちでは、活丸は荒っぽい遊び方をしてくれる私のそばを離れないし、女の子のビビアンはいつもこっそりオヤツをくれる甘々の妻の側を離れません。

今日も、2匹一緒にじゃれあったり追いかけてこしたりして、東京での生活を楽しんでいます。



みんなで遊ぶのが大好きな活丸とビビアン



「待て!」の合図で、ピタリと止まります

(担当/滝川、玉城 写真/松島)



## 大使館訪問

## ウズベキスタン共和国



Republic of Uzbekistan

Mr. Mukhsinkhuja ABDURAKHMONOV  
アブドゥラフモノフ大使

中央アジアのウズベキスタンは、シルクロードの要衝に位置し、古くから日本との交流があっただけでなく、その後も友好関係が続いています。平成3(1991)年に、旧ソ連から独立し、翌年、日本との外交関係を樹立しました。今年、外交関係樹立30周年を迎えます。

高輪2丁目にあるウズベキスタン大使館を訪問して、令和2(2021)年夏に赴任されたアブドゥラフモノフ大使にお話を伺いました。大使はウズベキスタンの大学を卒業後、国費留学生として来日し、北海道大学大学院博士課程を修了。その後、札幌で会社を運営され、計18年間日本で暮らしていたとのこと。日本語が堪能で驚きました。

注:ウズベキスタンは、本紙第25号(平成26(2014)年発行)に掲載しました。今回は、2度目の掲載となります。

面積 44万7,400平方キロメートル(日本の約1.2倍)  
人口 約3,390万人(2021年:国連人口基金)  
首都 タシケント Tashkent(青森県と同緯度:北緯41度)  
言語 公用語はウズベク語、ロシア語も広く使用される。  
宗教 主にイスラーム教スンニ派



## サマルカンド、イチャン・カラなどの世界遺産があります



## サマルカンド(世界遺産)

シルクロードのオアシス都市として古くから知られている。青色のタイルで装飾された美しい建物が建ち並んでいて、「青の都」や「サマルカンド・ブルー」などと称される



## イチャン・カラ(世界遺産)

歴史遺産都市ヒヴァの内域にあり、旧王宮、モスク、マドラサ(イスラーム教を学ぶための高等学院)などの伝統建築が建ち並んでいる

サマルカンドは、14世紀、ユーラシア大陸の広大な領域をおさめたティムール帝国の首都でした。ヒヴァは、キジルクム、カラクムの2大砂漠地帯の真ん中に位置しています。それぞれの地域には、重要な考古遺跡が点在しています。ぜひ一度、ウズベキスタンの町と歴史ある文化遺産を見にいらしてください。

## ウズベキスタンでは、考古学者の加藤九祚氏(テルメズ市の名誉市民)がよく知られています

諸機関と協力し数々の発掘調査や交流活動に携わりました。我が国の歴史研究に多大な貢献をされ、ドゥストリク(友好)勲章を受章されていて、教科書にも記載されています。今後も、両国研究者の協力により、中央アジアの古代の歴史が解明されていくことを期待しています。

## 考古学者 加藤九祚氏の経歴



加藤九祚氏



カラテパ遺跡(仏教遺跡)

上智大学文学部卒。創価大学、国立民族学博物館名誉教授。

大正11(1922)年、日本統治下の朝鮮慶尚北道で生まれる。10代の頃、兄のいた山口県に移住。戦争に従軍し、シベリアに5年間抑留されていた。その際、独学でロシア語を習得する。

平成元(1989)年、日本の遺跡調査団長としてウズベキスタンを訪ね、以来27年間、仏教遺跡の発掘及び調査に携わる。平成10(1998)年カラテパ遺跡で巨大なストゥーパを仲間と共に発掘する(4世紀前後の主塔で、7世紀に玄奘三蔵法師がシルクロードを通った際、立ち寄ったといわれる)。平成28(2016)年、ウズベキスタンで亡くなる(享年94)。

## ナボイ劇場は、日本と深いつながりがあります

アリシエル・ナボイ記念国立アカデミー大劇場  
壮麗なレンガ造りの建物

劇場は、1,400席あり、ロビーには素晴らしい彫刻が飾られています

ナボイ劇場は、中央アジアや中東で最大級の劇場です。第2次世界大戦後、シベリアに抑留されていた日本人の中から工事の要員として約500人がウズベキスタンに送られ、劇場の建設工事に従事しました。

工事に係わった人々は、専門ごとに約20の班にわけられ、陸軍技術大尉永田行夫(当時25才)がリーダーとなり、皆をまとめ元気づけて、劇場を完成させました。真面目に働く日本人を見て、食べ物を差し入れたりする町の人もいたそうです。

昭和41(1966)年にウズベキスタンを襲った大地震で、多くの建物が倒壊しましたが、ナボイ劇場は無傷で残り、「日本人が完工に寄与した建物が残った」として関心を集めました。作業に従事した日本人が勤勉で真面目であったということは、今でも語り継がれています。

平成8(1996)年、カリモフ元大統領の指示のもと、劇場の北壁に、日本人が完工に寄与したことを称えるためのプレートが設置されました。

## ウズベキスタンでは、日本語を勉強している若い人が多いです

ナボイ劇場の話はもちろんですが、テレビ番組「おしん」(国民の8割が見た)やアニメなどの影響もあり、日本への関心がとても高いです。民間の日本語学校だけでも約150校もあります。驚かれると思いますが、ウズベキスタンの人口構成は、若い人(40歳以下)が7割を占めるので、この若い人材が日本で活躍できればと思っています。

## 美味しい果物が沢山あります

タシケント市内のマーケット、  
多様なドライフルーツ、ナッツ類が売られているウズベキスタン特産のワインと  
伝統的な絵付け皿

晴れの日が多く、メロン、ブドウ、アプリコットなど美味しい果物が沢山とれます。ドライフルーツやナッツもとても美味しいですよ。ただ、内陸国なので、海運による海外との貿易は困難になります。オンライン販売はしていますが、近い将来、日本のスーパーなどで販売できるようにしたいです。

## ～取材を終えて～

アブドゥラフモノフ大使へのインタビューは、前半は通訳つきでしたが、後半は日本語でのお話で、その堪能ぶりには驚かばかり。大の親日家で、日本で生まれ育ったお子様達は、日本語で物事を考えるほどだそうです。大使としての信条で、赴任する以上は、その国の言葉をマスターするのはとても大事なことの言葉に感銘を受けました。赴任してまだ半年で、周辺地域のことはまだよく知らないため、これからいろいろ知りたいとのことでした。

(担当/滝川、阿部、松本、小林)





買い物  
するなら  
地元の  
商店街で

## 区からのお知らせ

### コミュニティ・カフェ高輪のご案内

高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センターそして地域の方が協働で運営し、地域の方が自由に参加できるカフェです。この2年間は中止か不定期の開催になりました。感染症の状況を判断して再開いたします。HUG高輪では、ほぼ毎月第3火曜日にミニ講演会かカフェを、ゆかしの社区民協働スペースでは毎月第3金曜日に、そして高輪区民センター2階では工事の関係で5月から毎月第2・4金曜日にカフェをオープンします。一緒にコーヒーを飲み、お話をしませんか。



**お問合せ先**  
高輪地区総合支所協働推進課地区政策担当  
電話：03-5421-7123

### 港区まちづくり条例を活用したまちづくりの仕組みのご紹介

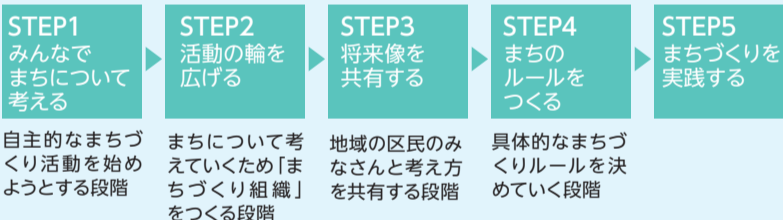
港区では、地域の課題は地域で解決し、地域の発意と合意に基づくまちづくりを推進するため、地域主体のまちづくり活動を支援しています。

現在、高輪地区内で組織登録されているまちづくり組織は右図のとおり4団体あります(令和4年1月31日現在)。

興味のある方は、各総合支所まちづくり課まちづくり係までお問合せください。



#### まちづくり制度の手順



**お問合せ先**  
高輪地区総合支所まちづくり課まちづくり係 電話：03-5421-7664

### 自転車の損害賠償保険に加入していますか?

都内で自転車を利用する人は、自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられています。自分自身と被害者を守るため、万が一事故を起こしてしまったときに備えて自転車の損害賠償保険に加入しましょう。

#### 港区民交通傷害保険【港区で受付を行っている保険】

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、車両による交通事故でケガをしたときに、入院・通院の治療日数と治療期間に応じて保険金をお支払いする制度です。

また、自転車運転中の加害事故によって法律上の損害賠償責任が生じたとき、その損害賠償金や費用を補償する「自転車賠償責任プラン」もあわせて募集します。

※自転車賠償責任プランのみに加入することはできません。

#### 加入対象者

令和4年4月1日時点で港区に住所・勤務先・学校がある人

#### 保険期間

令和4年4月1日午前0時～令和5年3月31日午後12時

#### 加入方法

##### 〈個人加入〉

区内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に必要事項を明記の上、保険料を添えて申し込み

##### 〈団体加入〉(町会・自治会等10人以上で加入)

団体加入申込書に必要事項を明記の上、人数分の保険料を添えて各地区総合支所協働推進課へ申し込み

##### 〈申込期間〉

令和4年2月1日(火)～令和4年3月31日(木)

#### コースの種類と保険料

表の7つのコースから1つのコースを選んでご加入ください。複数のコースへの加入はできません。

コース	補償内容(最高保険金額)	一時払保険料
XJ	交通傷害(35万円)+自転車賠償(1億円)	1,400円
AJ	交通傷害(150万円)+自転車賠償(1億円)	1,900円
BJ	交通傷害(350万円)+自転車賠償(1億円)	2,500円
CJ	交通傷害(600万円)+自転車賠償(1億円)	3,500円
A	交通傷害(150万円)	900円
B	交通傷害(350万円)	1,500円
C	交通傷害(600万円)	2,500円

※全コースに被害事故補償(最高保険金額600万円)が付きます。

#### 引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社

のご案内は概要を説明したものです。詳しくは、損害保険ジャパン株式会社東京公務開発部営業開発課(新宿区西新宿1-26-1)までお問い合わせください。

TEL 03-3349-9666(平日午前9時から午後5時まで)

承認番号：SJ21-08048 承認日：2021/12/23

◆既に入っている保険等に「個人賠償責任保険」が付帯されている場合もあるので、契約内容をご確認ください。

#### お問合せ先

高輪地区総合支所協働推進課協働推進係 電話：03-5421-7621



高輪地区の情報を広く発信していくため、高輪地区総合支所の公式ツイッターのアカウントを開設しました。

高輪地区で開催されるイベントや地域のできごと、防災や環境美化など様々な情報をお届けします。

ぜひフォローをよろしくお願いいたします! ▶@minato\_takanawa

高輪地区総合支所 ツイッター 検索



本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からご覧になれます。

みなとっぴ バックナンバー

### 編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

#### 区民編集メンバー

- |               |        |
|---------------|--------|
| 安藤 洋一(チーフ)    | 小林 由夏  |
| 吉田 由紀子(サブチーフ) | 近藤 悦代  |
| 佐々木 智秋(サブチーフ) | 澁谷 恵子  |
| 阿部 泰          | 滝川 まりえ |
| 池井戸 晴美        | 玉城 由香  |
| 伊関 則子         | 利光 明日香 |
| 海野 晋          | 野口 奈々穂 |
| 姜 明子          | 平尾 恭一  |
| 小泉 朱音         | 松本 昌大  |

▶島田晴雄先生、私と同世代なのに、八面六臂のご活躍に驚きました。先生からすごいエネルギーをいただきました。私ももう少し頑張らなければ。(安藤)

▶幕末の外国公使館、高輪地区にもこれだけあったんですね。周辺住民と外国人との関わり、地域への影響など、想像するだけでも興味が尽きません。(吉田)

▶「我が町」を愛する防災協議会の皆様は、地道な活動を続けていたので、記事を通して新しく活動参加くださる方がおられたら誠に幸いです。(佐々木)

▶街からタバコの自動販売機がほぼ姿を消し、歩行者喫煙も見かけることがなくなりました。良い変化はなかなか気が付きにくいかも。「良い世の変わり」を注視したいと思います。(阿部)

▶幕末の高輪地区は外国人が行き交うモダンな街で、彼等の日常の買物等どうしていたのだろうと、想像を掻き立てられる。(伊関)

▶歴史と日常。地域と世界。つながりや広がり編集委員皆さんの力でまとめられています。関わりを、更に広げていきたいと思っています。(海野)

▶ウズベキスタンには世界遺産の魅力的な街もあり、世の中落ち着いたなら是非訪見したいと思います。(小林)

▶紙面の数倍はある大変魅力的なお話を、字数制限内に収めるのに苦慮しました。皆様に上手く伝わりますように!(澁谷)

▶ウズベキスタン、取材を通して色々学び、いつかぜひ行ってみたいですね。(滝川)

▶あいは一との取材に参加しましたが、港区には色々な障害者に対する支援施設があり、多くの人が支援していることを知り感動しました。(平尾)

▶大使館訪問や島田氏面会など取材を通じ得難い経験ができました。地域の魅力が多くの方に伝わりますように。(松本)

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係

☎5421-7612 / 保健福祉係

☎5421-7085